

210626 名古屋城千田講演会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

録音禁止

13:00

司会：来てくれてありがとう

東海ラジオ 山崎さとこ

小学4年次男 城好き とても楽しみ

お願い 最新研究 講演の様様 撮影

資料撮影 ご遠慮ください

公式ガイドブック 受け取ってなければ声を

特別展覧開催記念 もう見たか？半分半分

7月11日まで 期限内に会場に

千田先生の話聞いてからだと見方が変わるかも

二度三度みて

千田プロフィール

国内外城 城郭考古学

石垣部会 真田丸考証 様々な活動

高く評価されている

「金シャチと名古屋城」

調査 成立過程と金シャチ

質問コーナーも

千田：準備します

忙しい中ありがとう

多くの方金シャチ見た 触られた方 思っていた以上に美肌

つるつる ほかにない

もう一度触れていただきたい

金シャチ 込められた思い

大屋根の上に上がっている名古屋城の歴史的意義

ぴかぴか つるつる 1時間半もったいない

前提として名古屋城を考えたい

徳川家康 総決算として築いた 意味が分からないと

・家康の築城

・名古屋城の位置づけ

・大天守の金シャチ どういう想いか

写真を撮っていただいている 動いちゃいけない
うろうろしながら話をする
ひとめめした なるべく暗くしてほしい
講演 舞台上が薄暗い プロが高いカメラ ぶれている
写真の時は静止する

本日の課題

- ・家康の城とは 結構地味な人？築城家としての家康
最終到達点
特別史跡に指定されている
- ・金シャチの歴史的意義
割合見慣れている
実はシャチ 城の最初からいたわけではない
織田信長がやりはじめたろう
金シャチ 全体が金 随一

家康は石垣を築けたのか？

駿府城 大御所として作って暮らした
歴史が好きな人ご存じ 大御所になってからではなく
五か国徳川領域 駿府城
小田原以後に江戸に
2つの時期があった
今川館時期
五か国時代 大御所時代
静岡市発掘 大御所時代以降の下に五か国時代石垣が出てきた

静岡市「家康は石垣を築けなかった」

中村一氏という大名が作った

私は疑っている

天正期 家康領に石垣がある

石垣を作ることができたのでは？

静岡市「どっちが作ったかわからない→秀吉が手伝った」？

岡崎城 空堀に入った

古い石垣が残っている 天正期

市場城 すごい石垣を作っている

角石 同じくらいのライン 重ね積み

算木積みができている石垣はぼろくそ

近年 並行する技術

家康時代の石垣が現代に残っている

大給城 天正期石垣

家康「石垣作れなかった」無理筋
評価を改める必要がある
同時代の武将 城でもトップランナー
浜松城 天守台が立派
算木積み 家康が江戸に移った後作った
現在の浜松城 家康時代の石垣は見るができない
家康時代に石垣が「なかった」とはいえない
富士見櫓 市役所が浜松城をぶち壊している
残っている 青いペンキ
発掘している 角の石垣 重ね積み
技法に着目して分類 古い石垣が残っている
天正期の石垣 蓋然性が高い
家康は早い段階で石垣を作れた
1570年代浜松城 CG 浜松市制作
石垣がない
1570年代 信長 苦しんでいる
近江 延暦寺 浅井・朝倉 連携して攻めてくる
浅井朝倉連合軍と戦う 足止め
宇佐山城 1570年築城
石垣職人をお寺から引き離してやった
重ね積みの技法
同時期の信長と変わらない 家康が劣っているイメージはよろしくない
明智光秀 福知山城
古写真 ヤフオクで売られていた
石垣の切れ目がある 増築の痕跡
右側が初期
福知山市 福知山城石垣 Tシャツ作った
原則として重ね積み
駿府城 櫓や門が復元
地下から天正期石垣が現れた
文字資料に書いてある 家忠日記
1585年石垣作り始めた 秀吉と戦っている
1587年 根石置いた
一次資料 少なくとも昭和の時代から
もはや疑う余地がない
1588年 天守の手伝い普請
1589年 小天守 石蔵根石

工事としては最先端
信長 大天守だけ
大坂城 櫓がくっついていた可能性
家康 駿府城 大天守と小天守が連結
秀吉に負けない城
ものすごい規模で出てきている
家康は石垣が作れなかった？ケチ？誰が言っていた
初期の石垣 重ね積み
安土城 長い短い長い短い 算木積み
信長 安土城では算木積み
福知山城 重ね積み 技術が並存
豊臣大坂城 天正期 詰丸石垣
石垣を展示しよう
今年3月 博物館 全部出しました
下に入れてもらった
大坂 冬の陣夏の陣 徳川大坂城
亡き者にしたい
人間の力だけで7メートル埋めた
徳川家の執念
普通なら、これを壊して大坂城
7メートル埋めたから、完ぺきに発掘された
算木積み
肥前名護屋城 秀吉 算木積み
本丸石垣 重ね積み石垣
天守台石垣 重ね積み
単純に算木積みが変わったわけではない
同時併存 作られていた
石垣の歴史 大体そう書いていない
岡山城 宇喜多石垣 重ね積み
豊臣一門 こういう石垣を使っている
熊本城 修理中→直った
4月公開予定→6月末から公開
清正 大天守石垣 重ね積みでやっていた
劣っているわけではない
・重ね積みは先行
・両者は並存
・慶長期から算木積みが主流

・石垣から「秀吉の城」と断定はできない
・家康 天正期から高度な石垣を独力構築
同じ武将の同じ時期でも多様性が含まれている
家康 初期の石垣 ほとんど残っていない
負けない同時代の先端技術を持っていた

名築城家家康

江戸城作った 江戸凶屏風有名

家光時代の様子 寛永期

巨大な天守

皇居の東御殿 本丸見学することができる

巨大な天守台が残っている

1657年大火後に再築

火災で大変 「天守なんか建てている場合じゃない」

江戸城を建てたい人

一度も建てたことがないところ「新築」

松江歴史館「江戸始図」

真田丸の絵図がある

一番先頭に江戸始図 慶長期

これはすごい資料

「真田丸が終わってから」

最初に慶長期 描いている

中心部 広大な本丸 石垣、堀 黒いライン

巨大な四角 大天守

付け櫓 北東小天守 北西小天守 南西小天守

外柵形 鉄壁な守り

軍事要塞

この江戸城のほうがよかった気がする

姫路城 連立式天守

中庭 卓球ができるくらい

江戸城 バレーもテニスもできる

復元図 圧倒的スケール感

すべての武士の拠点

石垣で固めた

江戸城 戦いのときに発揮できる

400年後 歴史を知っている

家康 江戸城 安心していない

自分の手に入ってくる？ 戦うこともある

緊張感をもって築く 最強の城
天守群からわかる
豊臣との最終決戦
豊臣家と徳川家 それぞれ仲良く
→豊臣家を存続させるわけにはいかない
その一環として名古屋城
従来は清州城 尾張の中心→清州越し
政治と軍事の拠点
西の軍勢が東に攻め上ってくる
濃尾平野をどちらが押さえるか
この後大坂冬の陣夏の陣
翌年家康は死んでしまう
江戸城 究極の城の後 最終到達点
すごいお城だ 戦国がどう終わったか
非常に重要な位置を占める
名古屋城大天守・小天守
江戸城連結
名古屋城合理的
直前に
江戸城に比べるとずいぶんさっぱりしたね
「どんな家でも作っていい。予算関係ない」
困る 家康はそういう立場
最終結論 ここに至るまで悩みに悩んだ
近年の発掘調査で分かった
大天守に「出入口あと」
宝暦 入口の痕跡 諸説あり
家康がこう作らせた 直しておこう
史跡保存 石の入り口も
死亡 出たら終わり
降りた先は空堀
江戸時代には何のためかわからなくなっていた
資料が残っている
木造天守が立っていた
柱と柱 入口部分がぴったり
建物と符合
出たところで何の幸せもない
「なごや御城惣指図」中井家蔵 1609年ごろ

大天守の西 小さな小天守がある
出入りする通路がある
家康はこう作ろうとした
最終決定している
家康直轄プロジェクト
くぎ「業者から言い値で買うな 入札しろ」堅実な人
江戸城 本丸の中に連立
御殿は狭い
強いが日常使いは困る
戦いのない時代 無用の長物 カッコいいが
これからの時代 小天守の一つを堀の中に
本丸の面積を確保
熊本城
名古屋城は巨大空間
戦いの時代ではない 政治の中心 御殿を重視
西側の小天守もやめちゃった 決断
地盤が悪いからできなかった？
地盤は全然悪くなかった 発掘
家康の決断
江戸城 天守曲輪が御殿用地を圧迫
これからは政治や話し合い 舵を切ろう
戦うための過剰な設備はいらない
単純な大天守小天守を並べた
空堀の中 どの程度つくったのかわからなかった
根石を据え付けていた
西側 石垣工事は始まっていた
ギリギリのところで決断した
ここからは空想 カッコいい 模型作ってくれないか
西側 大坂に向けた方向 巨大な小天守
堀の中 鉄砲撃ち放題 とても攻められない
小天守 西側 要 果たせていない
普通 ギリギリ端に建てる
家康 超城づくり下手ではないか？
西側小天守で防御
こういうのを展示してほしい
家康の城づくり
・江戸城 連立的天守の消滅は、家康が名古屋城で

下した決断に秀忠・家光が従ったから

- ・日本最強の城 慶長期江戸城で実現
- 際限なき軍拡を止めて江戸時代にふさわしい城を名古屋城で示した
- ・家康が軍縮
- ・現在の江戸城 単立

明暦大火以降、天守そのものが不要に

今の名古屋城の姿 意味があるか

あらためて

名古屋城 1612年 → 大坂城 1628年 → 江戸城 1638年

理想的な大天守小天守

八代城 加藤清正の息子

連結して 完全コピー

上に輝いているのが金のシャチ

お互いの距離感があった

すごい近い

近くで見るとかわいいところがある

江戸時代から名古屋に金シャチあり 名古屋を象徴

一目見たい

輝いているから熱田が魚が取れなくなったという噂

最初からこうではない

長い歴史がある

生み出される歴史

お城 屋根 シャチを載せる おそらく安土城から

山の上 一番高いところに天守が

信長 ホテルの一部

シンボルである

旧説訂正 信長が天主を作った → 間違っていた

畿内 天主が成立している

細川家 勝竜寺城 御殿を兼ねる

儀式を行う

天主 安土城の前から

光秀も建てている 坂本城

モチーフにして、大きく改変

天守に

天主 笏谷石

礎石が並んでいる

滋賀県 本能寺の変で焼け落ちたそのまま遺跡化

安土城石垣
柱そのもの 決定的
安土城 建物ごとに柱の間が違う
天主柱間7尺=2.1M
「懸け造り」
加納永徳 バチカンにあげた 行方不明
模写 天守の絵
なんとも言えない建物がある
天主の前にテラスがついている
姫路城西の丸
仙台城 ちょうえいかく
天主は信長そのもの
大名を頂点とした階層的な社会の姿を示した
瓦 浜松城 瓦ぶきない
信長のころから瓦を使い始めた
「唐人の一観 唐様に」→これがシャチでは
瓦 和風
奈良の職人を捕まえた
六重目
建築の内部に シャチほこ、飛竜を交互に書かせられ
七重目 内装は金 外装は金
内側の柱 昇り龍と降り龍
ふもとに復元模型 原寸大模型が展示されている
シャチ 大屋根の上？
安土城 建物の中 龍、シャチ 同義のもの
唐から来た
龍 内蒙古自治区 1049年 遼 慶州白棟 仏塔
八角形 降り龍
治世が素晴らしい 空から龍が舞い降りる
シンボル性のある
北京の紫禁城大和殿 龍をモチーフ
最高の神聖な生き物
首里城 焼けた
正殿の両脇に龍
信長 発掘調査 シャチ 復元
本丸中心のいずれか
唐人一観 日本でアレンジ シャチを生み出す

意味 信長作り出した「天下布武」双龍 印鑑
昇り龍 下り龍
天主にあってはシャチ
部分的に金
龍は特別 正しい、正当なもの シンボル
日本でも意識があった
滋賀県坂本城 本丸石垣 水没している
龍瓦
シャチにはできていない
光秀 自分の治めている地域 教養がある
大坂城
広島城 部分的に金
信長が生み出した、屋根の上にシャチ
神聖な力を広げる
名古屋城 金のシャチ 全身が金
戦いの時代ではなく、平和な時代
単純化する
信長以来の思いを受け継いで、最高の金シャチ
単に豪華ではなく、新しい時代を象徴したもの
広々とした
本丸御殿すばらしい うっとりする
家康が見ていた景色
遠くに仰ぎ見る金シャチ 近くに見て触れる
金シャチに至る道
戦国騒乱 幸せな時代ではない
治めて平和な江戸時代
龍に込められた思いをシャチに乗せた
安寧の思い
コロナで大変 シャチが地上に降りてきた
なかなか降りてくるものではない
ここまでとさせていただく

司会：家康の築城家

位置づけ

シャチの思い

質疑応答

千田先生に質問

会場：天守閣 はじめて作ったのは信長？

それ以前 具体的な事例 起源を

千田：勝竜寺城 細川ふじたか

書状の中に何か所も出てくる

近年出てきた資料

安土城前に天主成立していた

雲主 同類？

天守 天主 表記の違い どの程度意味を持つか

従来は追及してこなかった

坂本城天主 明智光秀 天正期 京都市 舟山城

本丸にあった 石垣の見事 崩れてはいる

本丸の周り 瓦が散布している

天主 巨大建物 瓦が落ちていない

中が御殿

天主は御殿 植物

→瓦で葺いて

純軍事的 天守 という流れではないか

見えてきた

まだまだ初期の天主 発掘事例 安土城以外ない

司会：勝竜寺城 坂本城 パンプに書いてある

会場：石垣 算木積みと重ね積み 共存していた時期

巨大な城 全国から職人

この大名が算木 この大名が重ね

この部分は算木 一つの城とかでいろんな特徴がわかるのか

千田：肥前名古屋城 ばらばら

九州の大名 それぞれ持っていた技術で

それぞれ作ったのか？実は、各大名の居城でも、それぞれ技術を持っていて

居城で両方ありうるのではないか

近世城郭 江戸時代に修理している

単純に今見える石垣 丁寧に見る必要がある

会場：岡崎から来た

家康のファン

岡崎城 重ね積みか算木積みか

千田：今は算木積み

調べていくと、古いところは重ね積みがあったのでは
現在発掘中

どういうふうになったか見えてくるかも

謎が解けるのではないか

まだ間にある 大学に行って考古学

岡崎市役所学芸員として就職したらよい

城研究は安泰

司会：質問あると思う

講演機会があると思う

予定の時間となった

これをもって終了 千田先生ありがとう

皆様ありがとう

7月11日まで

8時まで営業している 間に合う

すでにご覧なった人もまた

まことにありがとう

15:05